

YAコーナーに新しくいった本からピックアップ。

**YA  
通信**

No73 2017年1月号  
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



『ひかり生まれるところ』 まはら三桃/著  
小学館 913/シヨ/16

小さい頃から何かと神社と縁のある真面目な主人公・希美。大人になって神社で神職として働いていますが、希美には思い出したくはない中学時代のある出来事があった…

中学時代などの未成年の話と、大人になった今の話が交互に展開していくので自分が回想しているように思えてとても感情移入しやすい物語です。

読み終えると、頑張ろうと思える作品です。

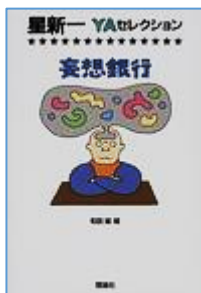


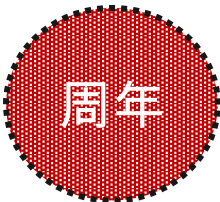
**名作たからばこ**

『妄想銀行』 星新一/著 理論社 913/リロ/09

人の妄想を吸いだすことに成功したエフ博士は、その技術を利用して妄想銀行なるものを開設しました。他人の妄想を管理し、時には売り買いもするエフ博士。その内に博士は手に入れた妄想を自分のために使おうとしますが…。

表題作「妄想銀行」以外にも全部で14の短編が納められています。「こうくるか!」と思わせるものから「え、続きは?」となるものまで様々ありますが、どの作品からもどことなく不思議な世界観が漂ってきて、その世界にひきこまれていきます。どれも短い話となっているので、腰を据えてしっかり読むもよし、ちょっとした時間の隙間に読むもよきな作品集となっていますよ。





アニバーサリー。今年がこれが何周年、あれが何十周年、なんてことを毎年聞くようになりましたね。そんなにいっぱいあるとよく分からない、そんな人のために今回いくつかピックアップしてみました。ホンの一部ですがぜひどうぞ。



**『シェイクスピア名言集』 小田島雄志/著 岩波書店 93/イフ/12**

2016年は、シェイクスピア没後400年にあたる年でした。現在も変わらず愛され続けているシェイクスピア作品を、その有名なセリフから紐解いたのがこの本です。「終わりよければすべてよし」「嫉妬は緑色の目をした怪物」など、どこかで聞いたことがある名言や、なるほど~と思わせる名言がズラリ。気に入った名言の作品を読んでみてはいかがでしょうか。どのページからでも読めるのが、なお嬉しい一冊です。

**『ディック・ブルーナ』 ディック・ブルーナ/著 講談社 726.5/テ/05**

2015年に誕生60周年をむかえた「ミッフィー」(うさこちゃん)の作者、ディック・ブルーナは今年で90歳!世界中の人々から長年愛されてきたミッフィーは、どうやって生まれたのか?作品のこと、仕事のこと、人生のこと…。77の質問にブルーナはひとつひとつ誠実に答えています。

ミッフィーファン、ブルーナファンはもちろん、「夢を実現させたい」と思っているあなたにもぜひ読んでほしい本です。なにかヒントが見つかるかもしれませんよ。



**『独立行政法人をゆく』 イカロス出版 335.7/ト/12 4階一般**

最近色々と有名になった「独立行政法人理化学研究所」。前身の時代を含めると今年で何と100周年目とのこと。ところでこの団体もそうですが独立行政法人って、名前はよく聞くけど何をしているのか分からないことも多いですよ。本来独立行政法人は民間ではできないような最先端の技術をいろんな分野で活用しているすごい団体なんですけど、あまり知名度がないんですよ。

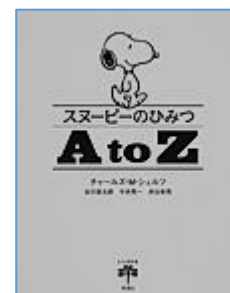
この本はそんな様々な独立行政法人について書かれた資料です。どんな仕事をしていて何を目標しているかはもちろん、館内で販売しているお土産なんかも載っていたりします。全ての法人(2012年当時)が網羅されているこの本で日本の最先端の技術を感じませんか?



**『スヌーピーのひみつA to Z』 チャールズ・M. シュルツ他/著 新潮社 726.1/ス/16**

今なお愛されるキャラクター・スヌーピー。今年そんなスヌーピーが登場する漫画『ピーナッツ』が翻訳されて50周年です。この本には原作者であるチャールズ・M・シュルツの生涯、作者たちに関するA~Zまでのキーワード、谷川俊太郎のエッセイなどが掲載されています。

最後には登場するキャラクターたちも描かれていて可愛いが満載の1冊です。



## ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)



### 『舟を編む』 三浦しをん/著 光文社 F/ミウ/11

『大渡海』という国語辞典編纂に携わる人々を描く。想像を超える言葉の収集とこだわり、長い年月を経て編み出された辞書、ネット社会といわれて久しいが、読み終えたあと、必ず辞書を引いてみたくなるはず。

「辞書は言葉の海を渡る舟、編集者はその海を渡る舟を編んでいく」という意味でつけられているタイトルと表紙も必見だ。

## 話のタネに！



伊藤若冲(じゃくちゅう)を知っていますか？江戸時代中期に活躍した画家です。昨年生誕 300 年をむかえ、各地で大規模な絵画展が開かれるなど、最近話題となっています。今回は、伊藤若冲についての本を紹介します。



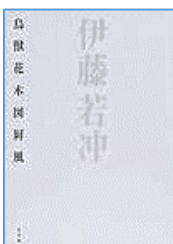
### 『もっと知りたい伊藤若冲』 佐藤康宏/著 東京美術 721.4/モ/06

伊藤若冲の代表的な作品を、その生い立ちとともに紹介しています。彼の独特な画風はどのようにして生まれたのか、そしてどのように変化していったのかということが、わかりやすく解説されています。若冲について知りたい人は、まずこちらを読んでみては？



### 『目をみはる伊藤若冲の「動植綵絵」』 狩野博幸/著 小学館 721.4/メ/00

『動植綵絵』は、動物や植物をテーマに10年をかけて描かれた30幅(枚)の大作で、若冲の代表作と言われています。この本はそのすべてを解説付きで紹介。鶏をはじめとした色鮮やかでリアルな作品を味わってみてください。



### 『伊藤若冲鳥獣花木図屏風』 山下裕二/著 小学館 721.4/イ/06

まるでテレビゲームのドット絵のような柵目描きの技法を用いて描かれたこの絵は、江戸時代のものとは思えないくらいモダンです。表紙と裏表紙に作品の全体図を、各ページには部分ごとにクローズアップして掲載しています。ひとつのマスの中が何色も使って描かれていることがよくわかります。



# YA担当イチオシ!

## 『ジニのパズル』

崔 実/著 講談社 F/チエ/16

4階 一般

### どんな本?

中学校から朝鮮学校に通うことになった、主人公ジニ。朝鮮語が話せず、周囲から奇異な目で見られてしまう。学校になじまずにいる中、北朝鮮がテポドンを発射したというニュースが流れる。このニュースはジニの身にも大きな事件をもたらす。そして、ジニはある決意をし……

### ここがオススメ!

たくさんの矛盾を抱えながらも、自分の居場所を求め懸命に生きる、ジニのパワーに圧倒されます。大人や世間一般の考えに流されず、中学生だからとひるむことも無い、大きなエネルギーを感じます。朝鮮学校に通う中学生、と主人公の設定になじみの無さを感じるかもしれませんが、しかし、大人や社会に対してぶつかっていく姿勢は、そのような設定を抜きにして、共感を覚えるのではないのでしょうか。最後まで一気に読んでしまいたい作品です。

## YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



- ◎ 10代向けの小説・読み物
- ◎ 勉強・進路・職業に関する本
- ◎ いろいろな悩みの解決に役立つ本  
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎ 自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」  
「△△の本はどこ?」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。

### 春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/>

ケータイサイトは QR コードから→

